

2022年度後期STARTプログラム コース一覧

*1 参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料、パスポート申請費、予防接種代、電子と公認証・査証手配代、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い（食費含む）などががかかります。

2022/11/14

*2 渡航期間には国内移動日数を含みません。

*3 新型コロナウイルスの感染拡大状況や、受入大学の状況により、研修内容や渡航期間等が変更になる可能性があります。変更の場合はもみじで通知いたします。

コースNo	コーステーマ/ 研修先大学・機関	渡航期間/定員/ 参加費（*注）	主な研修内容（予定）	引率	宿泊場所	研修先大学・機関の紹介	研修先地域・都市の紹介
1	【大学の世界展開カアアジア】 『韓国で学ぶコミュニケーションや文化』 ／韓国外国語大学（韓国）	2月10日（金） ～2月21日（火） （11泊12日） 定員：10人 （1～3年生対象） 参加費：10万円	◆韓国語講座（午前中） ◆韓国の伝統文化・現在の文化についての講義（午後） ※講義は英語で実施 ◆韓国学生とともにキャンパス及びソウル市内見学 ◆学外で韓国語の実践 ◆韓国学生とともに景福宮、国立民俗博物館、北村韓屋村など見学 ◆韓国学生とともに韓国観光広報館見学 ◆韓国学生とともに韓国民俗村見学 ほか ※本コースは、本学学生、受入校学生に加えて、中国・タイ・インドネシアの協定校からも参加の予定です	後日決定	大学が運営する宿泊施設を予定 ※大学外	【韓国外国語大学】 https://hufsenglish.hufs.ac.kr/ 韓国外国語大学（Hufs）は韓国の外国語教育発祥の地であり、アジア、中東、主要地域の45言語が学べます。Hufsは男女共学で、18学部78学科で約17,000人の学生が在籍しています。また、Hufsは世界97カ国602大学と教育交流提携を結び、教育交流を行っています。 外国語の理論と実践に重点を置くだけでなく、身につけた語学力を活かして、世界の政治、経済、社会、文化について学べるHufsの卒業生は、国際貿易や外交の分野などで重要な役割を果たしています。	【ソウル市】 ソウル特別市は、人口は1000万人を超える大韓民国の首都。京畿地方に位置し、行政区25区からなるソウルは政治の中心であるだけでなく、経済、交通、文化、教育・学術面などにおいて韓国の中枢。都市圏人口は2604万人で世界5位。韓国全人口の約半数が居住し、人口密度は東京都の約3倍。 アジア最大級の都市であり、東京、ニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ世界4位の都市圏経済力を有する。地形的には500m前後の標高の山々や丘陵が囲む盆地構造で、気候は温暖冬季少雨気候。2月の平均気温は0.4度。
2	【大学の世界展開カアアジア】 『タイで学ぶマイノリティーとジェンダー』 ／カセサート大学（タイ）	2月26日（日） ～3月10日（金） （11泊13日） 定員：10人 （1～3年生対象） 参加費：10万円	◆タイのジェンダー、マイノリティの状況に関する講義（英語での講義） ◆ジェンダー、マイノリティ関連NGO団体訪問 ◆ジェンダー意識向上をめざす企業訪問 ◆タイの人権委員会訪問 ◆タイの学校見学（カセサート大学付属高校、公立学校などを訪問） ◆バンコク市内の多文化共生コミュニティへの訪問（Kudi Chin Community） ◆公正な教育のための基金(Equitable Education Fund)訪問 ◆グループワーク ◆最終プレゼンテーション ほか	後日決定	大学付近の宿泊施設を予定	【カセサート大学】 https://www.ku.ac.th/en/community-home カセサート大学（Kasetsart University）は、1943年創立の国立大学。タイで3番目に古い大学。タイ初の農業大学で、農学系の学部が多い。現在は農学系の学部に加え、科学、芸術、社会学、人文学、教育学、工学、建築などの学部もある。 バンコク市内のパーンケーンキャンパスをはじめ、国内に7つのキャンパスがあり、そこで58,000人以上の学生が学ぶ、タイでもっとも規模の大きい大学の一つである。農学部にはインターナショナルコースを設置している。	【バンコク市】 人口800万人を超えるタイ王国の首都。都市圏人口は1600万人を超える。タイの王宮や政治の中枢機関が集中しているだけでなく、交通と宿泊施設の整ったバンコクは、ASEAN経済の中心地であり、アジアで2番目に多くの国際会議が開かれる東南アジア屈指の世界都市でもある。 バンコクは熱帯に位置し、年間を通じて最高気温は33℃前後、最低気温は20度～25度。11月から2月のやや涼しく過ごしやすい乾季で、気候も安定しているが、3月から5月にかけては雨が少なく朝から気温が上昇し、夜間も気温が下がらない雨季となる。
3	【大学の世界展開カアフリカ】 『アフリカの多様性と複数他者理解』 ／ザンビア大学（ザンビア）、カイロ大学（エジプト）	2月25日（土） ～3月8日（水） （8泊12日） 定員：5名 （1～3年生対象） 参加費：10万円	◆ザンビア大学訪問・交流（教育学部、農学部、看護学部、日本語学科等） ◆JICAザンビア事務所訪問、協力隊員配属先学校訪問、JICA事業視察 ◆ザンビアの自然（自然公園訪問） ◆ザンビアの歴史（ルサカ国立博物館訪問） ◆カイロ大学訪問・交流 ◆JICAエジプト事務所、民間企業訪問、事業地視察 ◆エジプトの歴史（ピラミッド、考古学博物館訪問）	後日決定	ザンビアでは、ザンビア大学内の宿泊施設またはホテルを予定。 エジプトではホテルを予定。	【ザンビア大学】 http://www.unza.zm/ ザンビア大学は、首都ルサカに1965年に設立され、同国で最も規模の大きな、国立総合大学です。教育、人文社会、法学、農学、医学、獣医学、工学等の学部があり、日本語学科も設置されています。学生数は約3万人です。 【カイロ大学】 https://cu.edu.eg/Home カイロ大学は、エジプトのカイロ郊外ギーザにある国立総合大学です。イギリス保護国時代の1908年に設立された、エジプトを代表する大学です。主な学部は文学部、法学部、経済学部、商学部、工学部、農学部、医学部、薬学部などで、文学部には日本語・日本文学科もあります。	【ルサカ】 ルサカ（Lusaka）は、ザンビア共和国の首都かつ同国最大の都市です。標高1,300mに位置しており、2016年の人口は約233万人です。 【カイロ】 カイロ（Cairo）は、エジプトの首都であり、アラブ世界及びアフリカ北部を代表する世界都市の一つです。アラブ連盟の本部所在地でもあり、アラブ文化圏の中心都市です。都市自体の人口は約966万人（2018年推定）ですが、近郊を含めたグレーター・カイロ（カイロ都市圏）の人口は2022年時点で約2,000万人を超えています。
4	『インドネシアにおける熱帯生物多様性と農業』 ／SEAMEO BIOTROP,ボゴール農科大学（インドネシア）	3月11日（土） ～3月21日（火） （9泊11日） 定員：10人 （1～3年生対象） 参加費：10万円	◆インドネシアの海洋と漁業の生物多様性 ◆インドネシアの気候変動が生物多様性に与える影響 ◆海から山への生物多様性 ◆インドネシアにおける社会文化 ◆インドネシアにおける政治経済 ◆農業エコツーリズム ◆近郊へのエクスカージョン	大学院統合生命科学研究科 小池 一彦教授 ほか	SEAMEO BIOTROP内の宿泊施設を予定	【SEAMEO BIOTROP】 https://www.biotrop.org/ SEAMEO熱帯生物学地域センター（BIOTROP）は、熱帯生物学のトレーニング、研究、大学院研究のための地域センターという名称で設立されました。SEAMEOBIOTROPでは、水耕栽培や水耕栽培の技術を使った都市農業の実践、組織培養研究所での組織培養技術を用いた植物栽培、天然物研究所での天然物の管理（エッセンシャルオイルや天然香水）等を行っています。 【ボゴール農科大学】 ボゴール農科大学は、Dramagaに本部を置くインドネシアの国立大学です。1963年に設置されました。農学部以外に獣医学、水産海洋科学など9つの学部で構成されています。ボゴール農科大学と広島大学とは2019年から大学間協定を結んでいます。	【ボゴール市】 インドネシア西ジャワ州の都市。ジャボデタベック都市圏の一部を形成し、周辺をボゴール県に囲まれています。ボゴールには、大統領官邸、ボゴール植物園、ボゴール農科大学、国際林業研究センターなどがあります。ボゴールは「雨の町」（KotaHujan）ともよばれ、乾季の間でも雨が多い。人口は約103.1万人（2014年）。